

平成 23 年度当初予算案に寄せられた意見と市の考え方について

(1) 意見募集結果

意見募集期間	平成 22 年 12 月 6 日～平成 22 年 12 月 24 日
意見募集結果	意見提出者 2 名、うち予算に関する意見 8 件、
意見に対する対応	意見を参考に案を修正したもの 0 件 原案のとおりとしたもの 8 件

(2) 意見内容と市の考え方

No.	提出された意見の内容	意見に対する考え方	案の修正の有無
1	経済環境部：産業振興課の「伝統産業保存育成事業」(10 頁)と佐倉学関連の施策(教育委員会：指導課「佐倉学推進費」(13 頁)と社会教育課「佐倉学事業費」(14 頁))とをうまく組み合わせることはできないのでしょうか。つまり、教育の中に伝統産業の保存育成を入れることはできないのでしょうか。	製作者の技術を紹介し佐倉ならではの伝統的工芸に対する理解を深めてもらうとともに郷土愛の涵養を図るため、市内小中学生を含め多くの方々に、製作現場を体験する機会を設けてまいります。 また、技術者と協議の上、更なる情報発信に努めてまいります。	無
2	経済環境部の中では環境保全のための種々の事業を行おうとしています。しかし、「自然環境施設保全事業」(9 頁)や「環境美化対策費」(9 頁)などで重複している箇所がないかチェックを欠かさぬようお願いいたします。	自然環境保全事業は主に西御門や直弥公園などビオトープ等の自然環境施設の維持管理を行うもの、環境美化対策費はゴミゼロ運動や町内清掃ボランティア支援についての予算です。予算計上にあたっては目的や事業内容等を整理し重複や無駄のないよう今後とも努めてまいります。	無
3	市民部：交通防災課の「交通安全対策費」(2 頁)、土木部：道路管理課の「交通安全施設維持管理費」(11 頁)、教育委員会：学務課の「通学路等安全確保費」(16 頁)が挙げられています。子供や高齢者などの弱者の人たちの観点から統一的な交通安全対策を講じられるよう、統一できるところは統一するよう努めてほしいです。	交通防災課は交通安全対策に関することについて、道路管理課はガードレールやカーブミラー等交通安全施設の維持管理等について、学務課は児童生徒の通学路の安全確保についての予算を計上しています。交通安全対策については各課が連絡をとりあい対応しております。	無
4	1. 財政課で頂いた経常的予算要求状況一覧表(以下一覧表)と事業別概要書(以下概要書)との関連です。この両者の関係が非常に分かりづらい。一覧	一覧表の作成方法については、改善するよう努めます。	無

	<p>表に書いてある順に概要書があるのかと思い読んでみましたが、1対1で対応していないようです。対応していないのなら、どのような関係なのでしょう？市民にとって、もっとわかりやすい一覧表と概要書のようなものを作成することはできないのでしょうか？</p> <p>2. 一覧表の中身自身も非常に分かりづらい。具体的に言えば、部毎に括っているのかと思えば他部門も次の行に入ってくるので、そうではない。では、似たような概念別にまとめているのかと思えばそうでもない。推測としては、行政会計のまとめかたがそのように指示されているとしか思えません。でも現行のやり方では、同じような事業について二重、三重の支出があっても、一般市民にはすぐに見分けることができません。他にわかりやすい一覧表を作れないのでしょうか？</p>		
5	<p>今年の日程は昨年に比べれば一見改善しているように見えますが、実質的にはやはり市民に対し不親切です。周知のように今議会は総合計画、市民自治基本条例等の重要な案件が目白押しで、それに関する議会審議の日程も押し押しの状態でした。今年の日程は、まさにそうした多忙な議会日程の最中に行われました。しかも、19日の市民説明会の5日後の24日が締切りです（この間に特別委員会が毎日のように開催）。これでは、昨年の12月23日説明会25日締め切りと殆ど改善がありません。折角の良い企画を潰してしまうのは残念です。まずは、市民意見の締切日をもっとゆとりのあるように説明会の日程を設定してほしい。</p>	<p>意見公募の期間は昨年より長くしております。当日の日程も昨年の半日から、本年は一日設定しました。</p>	無
6	<p>今回の出席者は昨年に比べ大幅に減り、一市民として非常に残念です。行政側のみの問題だとは言いませんが、広報の努力が足りない面も否めません。お金をあまりかけない広報活動はそう多くはないでしょうが、市内にある様々な団体に、彼らにも関連する内容を議題に取り上げている旨を連絡することも一助となるでしょう。例えば、国保関連者や介護保険関連者は人数も多いし、団体も多いはずです。私は自分の意見が絶対正しく、大多数を代表し</p>	<p>ご意見は、今後の業務を進めていくうえでの参考とさせていただきます。</p>	無

	<p>ているとは思っていません。でも一市民としてできるだけ多くの市民のことも考えながら発言することに最大の注意を払っています。それでもやはり限界はあるだろうと考えています。よりバランスのとれた市民の意見を反映する為にも、もっと多くの市民の参加を実現できるよう努力してほしい。</p>		
7	<p>公開説明の時にも質問しましたが、似たような事業に複数の項目が設定され、それぞれ予算が配分されている。その典型として観光について一覧表を使って述べます。</p> <p>映像等広報製作費、観光振興一般事務費、観光広報事業、緑と花づくり事務費、観光広報事業（臨時）、観光イベント事業費、観光資源創出費などは、かなり観光と言う事業面から見れば重複しているように見えます。私は、予算をつけてはいけないというのではなく、この様にたくさんつけていながら、成果があまり見えないことに納得がいかないのです。作成者は自分の職務項目に忠実なのかもしれませんが、観光という上位概念に対しきちんと関連部門で調整し、従来型の支出だけしてバックアップしていればそれで終わりというのでは困ります。行政であっても、企業であっても、組織はある上位概念の事業に対し、複数の部門が関連するときにはきちんと調整をして、資金の割り当てを行うのが当然です。ここの点を改善することを望みたいと思っております。</p>	<p>予算はそれぞれの事業について、その必要性を認識した上で、目的と事業内容を整理し、分担・調整して重複や無駄のないような形で計上しております。</p>	無
8	<p>企業誘致事業には約1億4千万円の予算が付いているが、起業支援事業にはたった60万円しかついていない。担当者に質問したところ、1億4千万のうち1億2千万円はQVCへの固定資産税還付金であるという事であったが、残りの2千万円は何なのだろうか？</p> <p>私自身、企業誘致はいけないとは考えていないが、議会傍聴をしてきた限り、殆ど成功していないというのが市長と行政側の回答であったと記憶している。最近では、6月に市長がそのような答弁をし、結果として多田（正しい漢字を知りません）理事が見えたということ、</p>	<p>企業誘致事業についてはQVCを含む佐倉市が誘致した企業への補助金です。</p> <p>ご意見は、今後の業務を進めていくうえでの参考とさせていただきます。</p>	無

<p>先日の総合計画の分科会で知った。ここで私が問題とするのは、市長を含め市スタッフ全員の思考が一定方向に固まり、柔軟性を失っているのではないかということである。その結果がこうした予算請求に表れていると言っても過言ではないような気がする。</p> <p>一例をあげれば、佐倉市7万6千世帯のうち約3万戸が一戸建て住宅とすれば、年間30億円から60億円の住宅維持費（塗装、増改築、水回り等）のマーケットが存在していると推定できる。このマーケットの供給者の大部分を市内業者が取れるようにするにはどのような制度設計が必要かということが全く予算化されていない。</p> <p>もう一つ起業の例を挙げてみる。市内には映像や通信に造詣のある若い技術者が結構いると聞いている。市がこれから行う様々な活動に映像を通信化したものがどんどん必要になってくるはずである。例えば、議会報道、委員会報道、佐倉のチューリップ祭り、時代祭、秋祭り等等。つまり、観光にしても、行政活動にしても、議会活動にしても映像化された情報の広報影響力はとても大きい（市内外を問わず）。市はそうした事業のスペックを作成し、市内の若いエンジニアを対象にコンペを募集したらどうか。本当はESCOみたいなものも、指定管理業者のような制度を適用するのではなく、スペックを決めて市内の業者対象にコンペをした方がはるかに市民や市にとって有益である。</p>		
---	--	--